

空き家 対策 レポート

「大規模造成住宅団地における 空き家の活用方法の提案」 のための中間発表を静岡産業大学 の学生の皆さんが行いました！！

平成30年度【しずおか中部連携中枢都市圏 地域課題解決事業】

藤枝第9自治会の役員の皆様ご参集のもと、平成30年11月21日（水）、静岡産業大学藤枝キャンパス内、会議室において空き家対策に関する中間成果発表会が開催されました。平成30年8月より、静岡産業大学の学生の皆さんがこのプロジェクトを開始し、空き家の現地調査や藤枝第9自治会役員との懇談会、藤岡団地内における学生の自主的な草取り等の奉仕作業等を通じて、自治会が現在行っている行事取り組みの中から今後の自治会の行事等のあり方や、藤岡地区の地域の魅力、特性を活かした取り組みについて学生の視点で検討しています。

空き家対策とはいえ、学生自身が新規入居者と空き家所有者とのマッチングを図ることは難しく、藤岡団地に住みたいと思ってくれる人が増えるような街の魅力の創造や再発見できる、訪れたいような街づくりへの取り組みについての発表がありました。

公園等の魅力ある施設の整備や地域住民の高齢化に伴う公共交通機関のあり方などハード事業に関する提案の他にも、地域の夏祭り等の行事への静岡産業大学学生とのコラボレーションを行うことにより、普段関わることの少ない大学生との交流の中から地域の子どもの将来の可能性を導き出すばかりではなく、地域の皆さんとのダンス教室やスポーツごみ拾い、都市公園内の花壇づくり等の交流の中から、地域住民との親睦を深め、学生と協働し、地域の魅力・情報を発信する街を目指すとの発表があり、藤枝第9自治会の役員の皆様も興味深く学生の意見に耳を傾けていました。

このような取り組みを通して、空き家への見守り活動や取り組みについても更に研究、検討を行い、よりすばらしい提案にしていきたいと思います。



静岡産業大学藤枝キャンパス内 会議室



中間発表開催状況

